

交通基盤部道路局

事業再評価

箇所一覧

2 (再) 一般国道362号
本川根～静岡バイパス

4 (再) 一般国道469号
御殿場バイパス

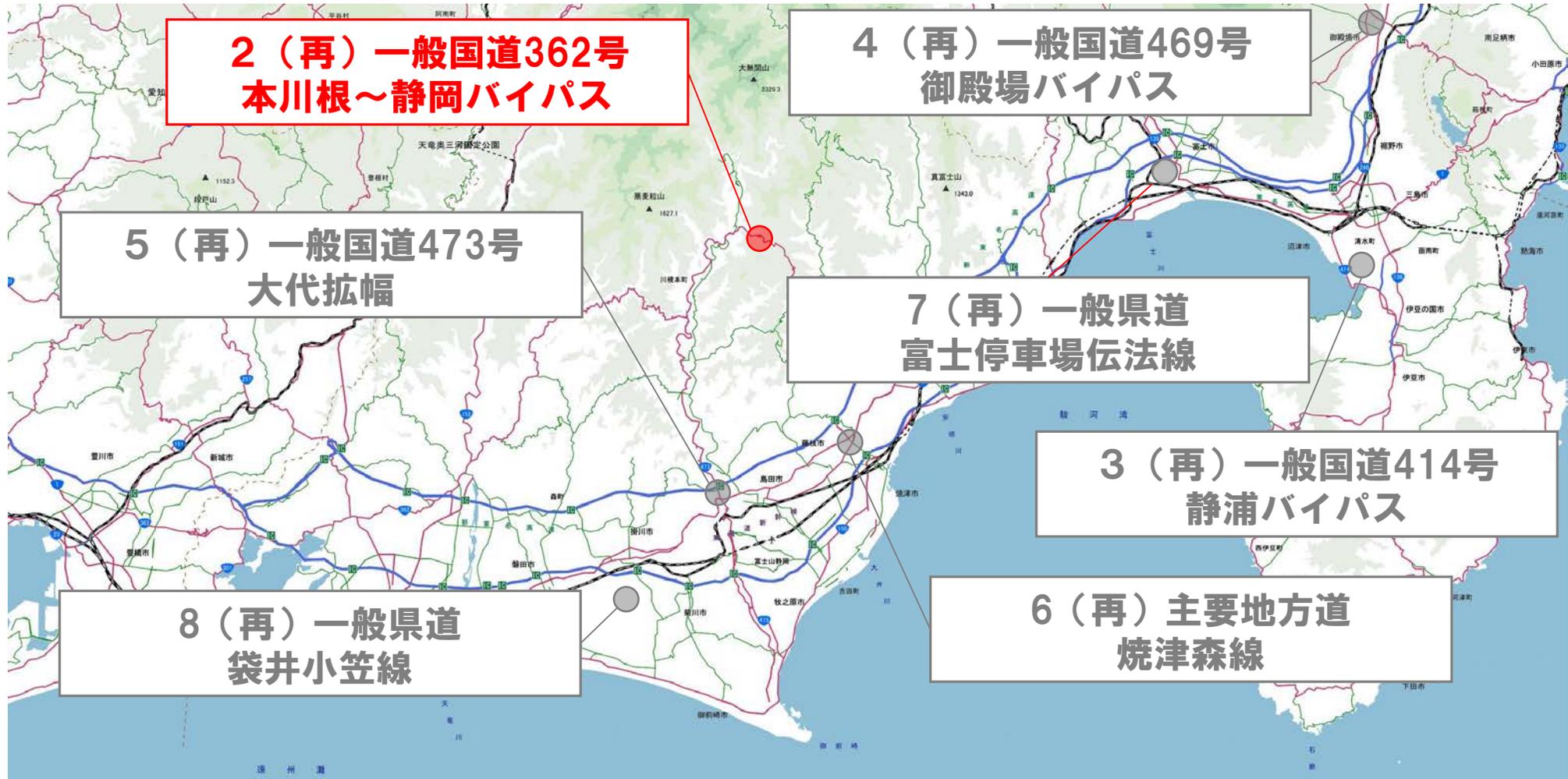
5 (再) 一般国道473号
大代拡幅

7 (再) 一般県道
富士停車場伝法線

3 (再) 一般国道414号
静岡浦バイパス

8 (再) 一般県道
袋井小笠線

6 (再) 主要地方道
焼津森線



平成30年度 公共事業再評価(道路事業)

一般国道362号 本川根～静岡バイパス

交通基盤部 道路局 道路整備課

1. 事業箇所位置図(詳細)



2. 事業概要

- 事業期間: 昭和56年度～平成34年度
- 事業費 : 240億円
- 事業延長: 約10km

【進捗状況】

- 事業費: 85.8% (平成30年度末)
- 用地面積: 100% (平成30年度末)
- 供用延長: 約7km (平成30年度末)

① <未整備区間>

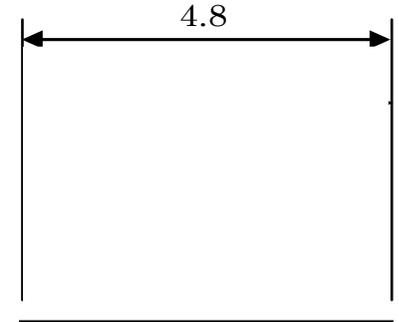


② <整備済み区間>

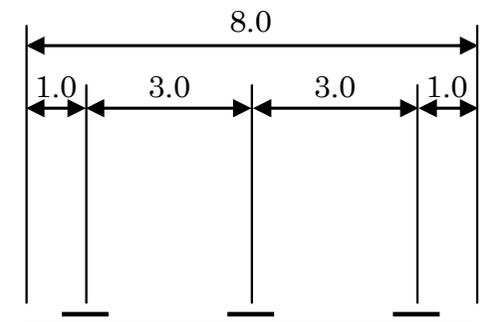


= 標準横断面図 =

<最小幅員(未整備時)>

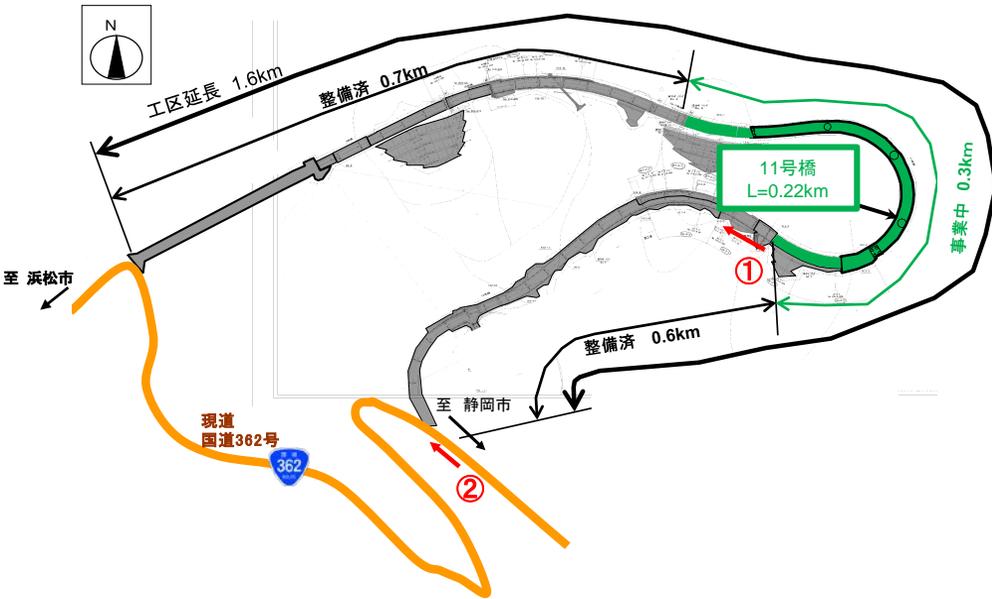


<標準幅員(整備時)>

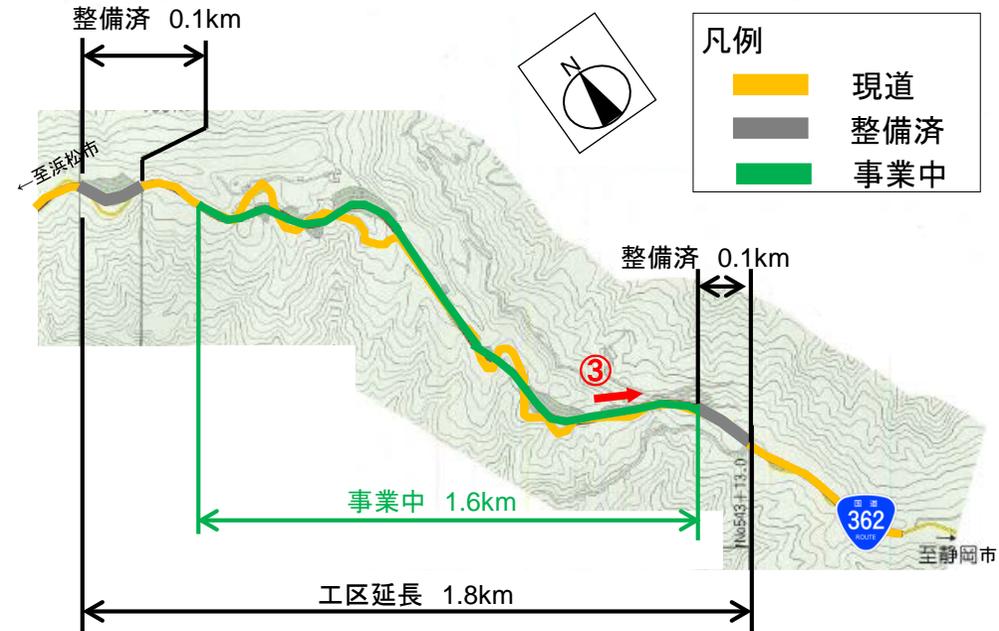


2. 事業概要

Ⅱ-1工区 平面図



Ⅱ-4工区 平面図



3. 事業の投資効果（費用対効果）

費用便益分析マニュアル(国土交通省 道路局 都市局 平成30年2月)

【平成30年度】

総費用 (C)	499.78億円
建設投資額	496.10億円
維持管理費	4.28億円
用地残存価値	0.60億円

総便益 (B)	434.40億円
走行時間短縮便益	418.12億円
走行経費減少便益	15.60億円
交通事故減少便益	0.68億円

※検討年数は供用開始後50年。

費用対効果 (B / C)

=0.86

【平成25年度】

総費用 (C)	390.84億円
建設投資額	387.50億円
維持管理費	3.83億円
用地残存価値	0.49億円

総便益 (B)	355.02億円
走行時間短縮便益	339.39億円
走行経費減少便益	15.21億円
交通事故減少便益	0.42億円

※検討年数は供用開始後50年。

費用対効果 (B / C)

=0.91

【参考】事業の投資効果（費用対効果）

平成30年度
算出値
B/C=0.86
(再掲)

総費用 (C)	499.78億円
建設投資額	496.10億円
維持管理費	4.28億円
用地残存価値	0.60億円

総便益 (B)	434.40億円
走行時間短縮便益	418.12億円
走行経費減少便益	15.60億円
交通事故減少便益	0.68億円

①残事業に対する費用対効果

B/C=2.85

総費用 (C)	32.31億円
建設投資額	32.20億円
維持管理費	0.11億円

総便益 (B)	92.09億円
走行時間短縮便益	90.02億円
走行経費減少便益	2.20億円
交通事故減少便益	0.00億円※
用地残存価値	-0.13億円

公共事業評価分析に関する技術指針(共通編)(国土交通省 平成21年5月)

※小数点以下の値であり、算出結果に反映されない。

②供用済区間の便益を考慮した費用対効果

B/C=2.23

総費用 (C)	499.78億円
建設投資額	496.10億円
維持管理費	4.28億円
用地残存価値	0.60億円

総便益 (B)	1119.42億円
走行時間短縮便益	1074.66億円
走行経費減少便益	43.21億円
交通事故減少便益	1.55億円

4. 事業の効果について

＜命の道＞

① 救急医療への寄与

（救急搬送時間短縮による救命性向上）

② 防災対策及び事前通行規制区間の解消

（防災総点検要対策箇所による安全性向上）

＜その他＞

③ 観光産業の支援

（バイパス供用によるアクセス性の向上）

4. 事業の効果について

<命の道>

①救急医療への寄与

○3次救急医療を受けるために、静岡市側へ搬送する必要がある。

※3次救急: 重篤な疾患や多発外傷等に対する医療であり、救命救急センターや高度救命救急センター等が対応

= 救急医療施設搬送ルート =

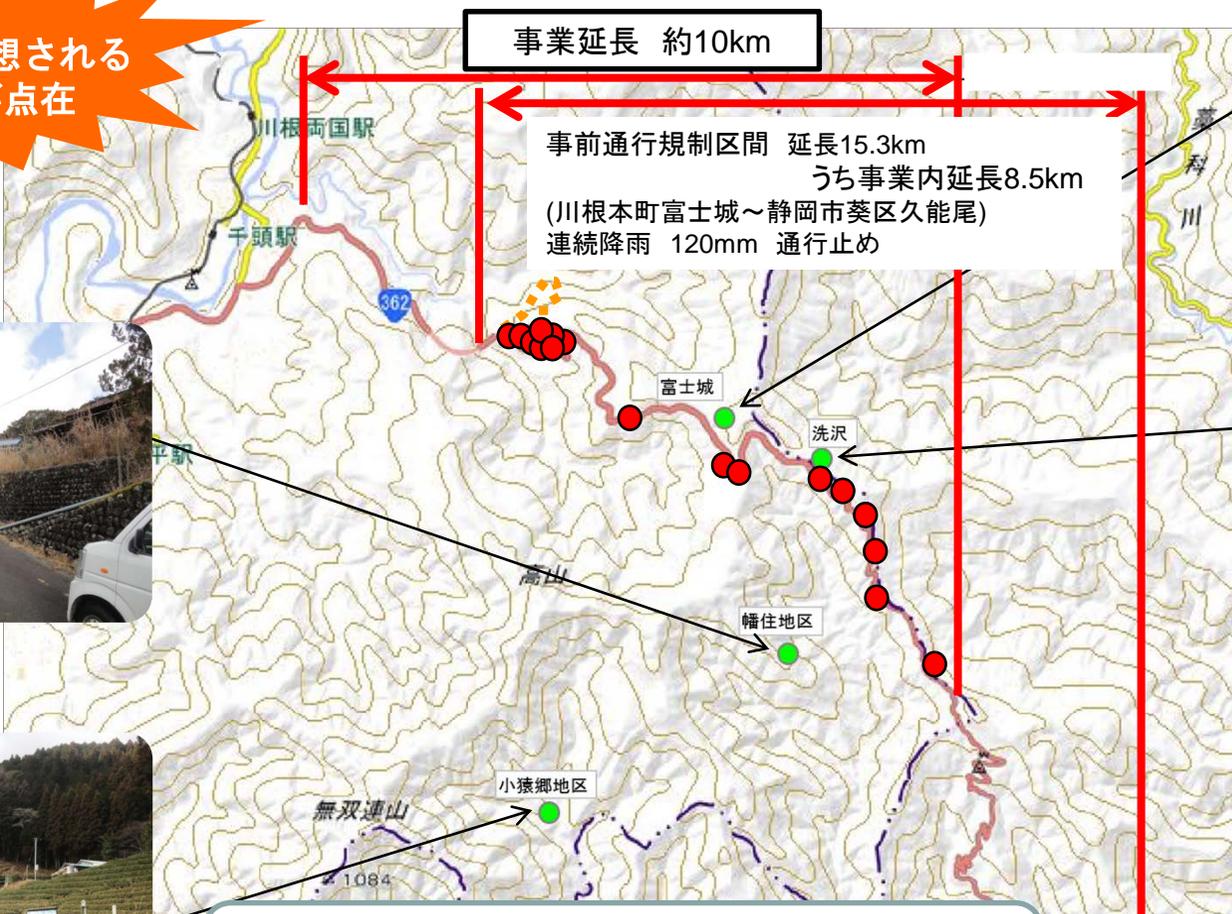


4. 事業の効果について

<命の道>

②防災対策及び事前通行規制区間の解消

孤立が予想される
集落が点在



ふじしろ
富士城地区



あらいざわ
洗沢地区



はたすみ
幡住地区



こざるごう
小猿郷地区



法面对策 未整備箇所



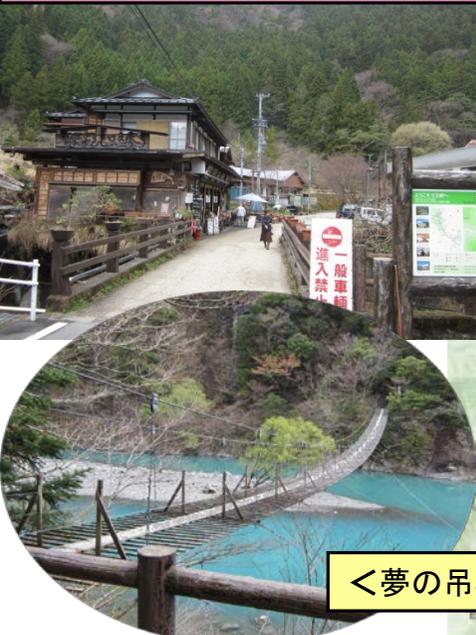
●要対策箇所・・・17箇所(防災総点検)

●集落・・・4箇所

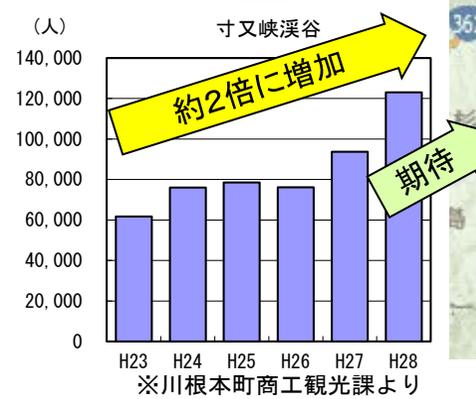
4. 事業の効果について

<その他> ③観光産業の支援

すまたきょうおんせん
<寸又峡温泉>



<夢の吊橋>



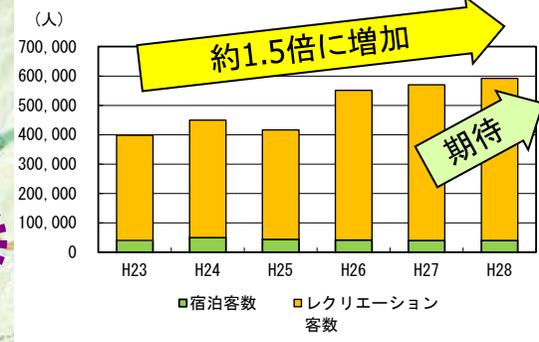
せつそきょうおんせん
<接岨峡温泉>



ながしま
<長島ダム>



＝観光施設入込数（川根本町）＝



※川根本町商工観光課より

<新東名高速道路>
静岡SASスマートIC

一般国道 362号
本川根～静岡BP

5. 対応方針（案）

- 平成30年度に算出した費用対効果(B/C)は「0.86」
- 残事業に対する費用対効果(B/C)は「2.85」
供用済区間の便益を考慮した費用対効果(B/C)は「2.23」
- 費用対効果(B/C)に現れない事業効果として、
 - ① 救急医療への寄与
 - ② 防災対策及び事前通行規制区間の解消
 - ③ 観光産業の支援

など、事業効果が高い



事業を継続する。